

上部消化管（食道・胃・十二指腸）内視鏡検査をお受けになられる方へ (検査日)

【目的】

食道・胃・十二指腸を観察し、病変部位(潰瘍・腫瘍・ポリープなど)の有無を調べます。病変部位が認められた場合は詳細に観察し、必要に応じて病変の一部を採取し、顕微鏡で詳しく調べることもあります。

【方法】

のど（あるいは鼻からのどにかけて）に軽い麻酔をした後、上部消化管用電子内視鏡（「胃カメラ」や「ファイバースコープ」などと通称されています）を挿入します。挿入経路として鼻から（経鼻）と口から（経口）があります。また検査中の苦痛を取り除くため、鎮静剤の注射を適宜行います。

【偶発症】

検査中にごく稀に出血、穿孔(穴があく)・麻酔薬へのアレルギー反応などの合併症が生じることがあります。その際は、最善の処置・治療(入院・手術も含む)を速やかに行います。又、鎮静剤や鎮痛剤の影響により、呼吸器・循環器に合併症をきたす場合がありますが、医師が対応致します。最近（2003年～2007年）の5年間の全国集計は、偶発症の頻度は観察を目的としたもので0.005%、治療を目的としたもので0.057%でした。

【注意点】

下記の項目の当てはまる方は事前にお申し出下さい。

- (1) 抗凝固薬（バイアスピリン・パナルジン・ワーファリンなど）を服用している方。
- (2) 糖尿病、高血圧、心疾患などで内服中の方。

上記(1)(2)に該当する抗血栓薬、抗糖尿病薬を服用されている方は、検査/処置の予約時に薬の服用用法について説明をお聞きいただき、指示された服用法を必ず守って下さい。出血や血栓症、低血糖発作を起こす可能性があり、服用が適切でない場合は検査を延期する事があります。

鎮静剤を希望する方は、この薬による影響のため、ねむけ、視力低下、健忘などが現れことがあります。当日は車やバイクなどの運転は絶対におやめ下さい。また重要な判断を要する仕事は避けて下さい。

ご不明な点がありましたら、ご遠慮なくお尋ねください。

同意書を提出された後でも検査を中止することができますので、いつでもお申し出ください。

上部消化管内視鏡検査同意書

今回、上部消化管（食道・胃・十二指腸）内視鏡検査にあたり、検査内容とその必要性及び合併症について説明を受け、承諾しましたので同意します。万一、合併症が生じた際には、必要な処置を受けることに同意します。

藤沢湘南台病院 院長 殿

年 月 日

説明医師

本人

家族又は代理人

(続柄: _____)

看護師
